令和4年度　松川中央小学校　グランドデザイン

【松川町】　いっしょに育てよう　ひとり一人が輝く　笑顔あふれるまち　まつかわ

【松川町教育委員会】
まつかわ大好きな子・世界や地域とつながる子
一人ひとりがかがやく子・わたしを大切にできる子
４つの重点
○　自ら学ぶ子どもの育成
○　多様な学びの実現
○　子どもが主役～子どもと語り合う～
○　地域とつながる～町全体が学校～

【学習指導要領】
予測が困難な時代　改めて「生きる力」の必要性
目指す資質・能力
ア　生きて働く「知識・技能」の習得
イ　未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」の育成
ウ　学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

学校教育目標　よく学び よく遊び よく働き おもいやりのある子

R４年度重点目標
自分で考え判断して動ける子

学ぶ
主体的に学習に取り組み、自信をもってさらに深く学ぶ子
・授業を通して多様な方法や考えに触れる（結果より過程を重要視する問題解決学習）
・ＩＣＴ機器を活用し自分なりに学習に取り組む（新しい学び方に触れるＧＩＧＡスクール構想）
・いろいろな先生の授業により自信をもって取り組む（多様な人生観に触れる教科担任、授業交換）
・多様な学習グループで学び自己の良さを再発見する（自己啓発につながる合同授業、学年授業）

遊ぶ
遊びの中で、人と関わる楽しさを味わい、よりよい関係を築く子
・いろいろな学年の人との交流を楽しむ（コミュニケーションを楽しむ異年齢交流）
・レクレーションなどを計画実行し楽しむ（児童の発想力を伸ばすの学年レク、学級レク）
・自分たちでルールを決めて楽しめる（少数意見を尊重する学級会）
・自分からいろいろな人に声をかけて遊びの輪を広げる（積極性を育む姉妹学級交流）

働く
働くことの良さを感じ、他者のために自ら働く子
・なかよし清掃を通して互いの良さを見つけあう（他者理解を育むたてわり清掃）
・児童会主体の無言清掃を通して自分と向き合う（自己肯定感を育む清掃活動）
・野菜作りや米作りを通して働く良さを知る（キャリア教育としての生活科、総合的な学習の時間）
・当番活動を通して頑張っている自他を認め合う（自己有用感を育む学級活動、児童会活動）

思いやる
他者の立場になって気持ちを理解し共に活動できる子
・自分からあいさつし居心地のいい学校にする（あいさつで心理的距離を縮める）
・児童会けやき集会でペアを組んだ人と仲良くなれる（相手意識を育む児童会活動）
・特別支援学級で頑張っている友だちを応援できる（共生社会理解へつながる原級と支援級との交流）
・友だちの気持ちを思いやり、いじめのない学校をめざす（身近な生活を通しての人権感覚の涵養）

安心安全な学校づくり
・いじめ・体罰・スクールセクハラ相談窓口設置（校長室・保健室）
・県・町スクールカウンセラーによる児童や保護者との面談　WISC等検査結果を生かした支援
・町不登校支援員や子と親の相談員、スクール･ソーシャル･ワーカー(SSW)との連携による登校支援

家庭との連携
・児童の学びや育ちを伝える学級・学年だより
・学習状況の共有（NRT、CRT、全国学テ）
・児童の困り感を学校・家庭で共有する教育相談週間
・ICTを活用した家庭学習の検討
・学校評価を生かした授業改善、教師の意識改革

地域との連携
・学校だよりやHPによる情報発信
・地域巡り　地域講師　地域行事参加　地域貢献
・けやき応援団
　クラブ支援隊　本読み聞かせ隊　地域を知ろう隊
　勉強がんばり隊　登下校見守り隊

学校評価
・「学習した内容がよくわかった」と答える児童の割合が９０％以上（Ｒ３　８６％）
・「友だちと遊んだり活動したりして学校生活は楽しい」と答える児童の割合が９５％以上（Ｒ３　９４％）
・「最後までしゃべらずにそうじができた」と答える児童の割合が７０％以上（Ｒ３　６４％）
・「自分からあいさつができた」と答える児童の割合が８０％以上（Ｒ３　７４％）